

花の育成を通じて、地域のふれあいを推進

【常磐学区】常磐学区町内花いっぱい活動

《学区データ》

学区名：常磐学区

世帯数：1,570世帯

（平成26年3月1日現在）

《団体データ》

団体名：滝町町内会

事業開始年度：平成23年度



◆取組のきっかけと経緯

高齢者の中には熱心に町内会などの行事に参加し、地域との関係を密にしている人がいる一方で、趣味が多様化して頻繁に外出していたり、ほとんど外出をしないで家に引き籠りがちになっているため、地域とのつながりが薄くなってしまいう人も少なくありません。滝町もその例外ではありませんでした。そこで、滝町を高齢者が活発で元気な町にしていくために、どんな方でも気軽に参加ができ、地域とのつながりを持っていただける活動、高齢者が安心して集える場所の提供ができる活動として、平成23年から本事業が開始されました。

◆事業内容

常磐小学校と滝町町内会が連携しており、環境委員会の児童が花の苗を育て、育てた苗を滝町内の13地区に引き渡しをしています。花の種や苗などの費用は町内会が負担をしていますが、現在では学校行事として定着しつつあります。受け取った花の苗は、学区市民ホームやバス停などの公共施設を中心に滝町内約40カ所に設置されているプランターで、地域の住民により大切に育てられています。

草取りや水やりなどの花の管理は、主に地域の高齢者がしており、子どもから高齢者まで多くの住民がきれいな町づくりに参加しています。

◆成果

小学校から引き渡された花は地域の高齢者が中心となって管理しているため、管理をするにあたり住民同士がふれあう場ができています。他の町内行事に長時間参加することができない方でも花の世話で



あれば気軽に手伝っていただけるため、身近な交流の場として重要な役割を果たしています。

特に、高齢者が単身で住む世帯や、ほとんど外出をされない世帯の住民に花の管理をしていただくことは、地域の安心にもつながっています。



◆今後の展望・課題

花は天候や気象状況に大きな影響を受けてしまいます。猛暑の場合は頻繁に水を与えなければならず、炎天下の作業も必要になることから、地域間で花持ちや育成状況に差が生じてしまいます。また、苗自体も日照条件で年により思うように育たないこともあります。今後も継続して活動を行い、滝町だけでなく、常磐学区全体をふれあいが多く花がいっぱいの明るい地域にしていきたいです。

こんな工夫をしています！

● 児童の手で直接地域に引き渡し

→ 花の苗を地域に渡す際には、常磐小学校で引き渡し式を開催しており、地域の住民は児童が育てた苗を直接受け取ることで、引き続き大切に育てようという意識を持つことができます。

また、児童は自分たちが育て上げたものが、実際に引き渡される光景を見ることにより、地域に貢献できていると実感することができ、次回の苗づくりへのやりがいにつながっています。

注目ポイント！

● 花で町内の季節感を演出

→ きれいな花が町内にたくさんあることにより町を明るく、華やかにしてくれるなどの効果があります。

また、本事業では児童が季節に合った苗を育てており、プランターの花は年2、3度交換します。公共施設を中心にプランターを設置しているため、世話をしている児童や地域の住民だけでなく、多くの方が花を見ることにより季節を感じることができます。